

知事リコール署名に係る市長の政治責任について

市民に謝罪し、経過を徹底説明する責任があるのでは

【江上議員】通告に従い、知事リコール署名に係る市長の政治責任について、河村市長に質問します。

リコール団体が提出した署名の8割以上が有効と認められないと明らかになった2月1日、リコール運動を熱心に進めてきた河村市長は、不正発覚に対して、謝罪すると私は思っておりましたら、「僕も被害者」と記者に語って謝罪どころか責任がなかったかのような発言をいたしました。その後、偽造署名の書き写しの経過も次第に明らかになってきた3月1日の記者会見で、「正当に署名活動をされた方がたには、…早く気づけなかったことについては申し訳ない」と発言しています。

そこで、質問します。署名を熱心に推進した市長が、正当に署名活動をされた方のみならず、市民全体に謝罪をし、不正署名となった経過を徹底説明する責任があるのでしょうか。お答えください。

不正を見つけられなかったのは市民にも申し訳ない（市長）

【河村市長】まず冒頭短くですけど、先ほどの、ちょっと前の議会で僕のことをいわゆる中心人物であると、（江上「聞いてません」）これは根幹にかかわりますから。これに関し何の弁明もなしにですね。これはいかんと思います。私は署名運動の中心人物ではありません。管理責任などはもっておりません。取り消し、ないし訂正していただきたいと思います。

それからまあ謝罪はどうかということでございますけど、まあなんせ想像もできんことがおこりまして、で、はじめから謝ってばっかというのもこれもまず、とにかく事態の真相究明がどうしても重要だということ、そちらをまず徹底的にやろうということ、で実際やっとりまします。そういう意味で本当に、まあいいましたように、まじめに、僕の知るところではまじめに署名運動やっつた人ばっかですから、その皆さんに対しては申し訳にゃあと。でほかの、ほかのっていつてはいけませんけど、市民の皆さんにも

そりゃあ申し訳にゃあなと、こんなことがおこってと。まあこないだも言いましたけど、自分で見つけられなかったと。

先ほどいいましたように私は中心人物じゃありませんので、管理責任もなかったから分からなかったですね、これ。河村にどうもわからんようにやろうという話もあったようでございます、と思っております。

昨年11月に偽造に気づいていたのでは。その時点でなぜ調査しなかったのか

【江上議員】2月1日の記者会見で、「署名がおかしいと感じたことは一度もなかったのですか」という質問に市長は、「一度もありません」と発言しています。しかし、佐賀県で書き写しの報道が明らかになった後の2月22日の記者会見で、「偽造署名していたのはわからなかったのですか」という質問に、「私が本当に分かったのは11月3日の日に行って、なんか同じような署名があるなというのを言っとったんですね。スタッフが。という話を聞いて、その時だった」と発言しています。立ち話とも言っています。それを受けて、「田中事務局長とかに質問したか」と聞かれて、市長は、「していません。全然想像もできん」からとか発言しています。

そこで、質問します。2月1日は、まったく偽造を知らなかったと言いながら、2月22日には昨年11月3日にわかったと言い出した。しかし、調査をしなかった。なぜ、2月1日に、まったく偽造を知らなかったといったのですか。そして、なぜ、11月3日以降調査をしなかったのですか。お答えください。

秘書から聞いていた。大量の不正署名があるとは考えなかった（市長）

【河村市長】これ確認してきたんですけど、11月3日の日に、うちの秘書の、これ名前もいうとくと、大谷というんですけど、が来まして、エレベーターの前のへんだと言ってますけど、僕もちょっとようわからんですけど、そこでやっぱり、同じような署名が多いんですわ、という事を聞いた気がします。正直に僕がいったんですそれは。だけど、俺どうだったと聞くと、何の返事もなしにそのままエレベーターかなんかに乗ってかれましたよ、という話で。

私は何べんもいいますが、前回の、ここで言うと皆さんは面白くニヤーかもしれませんが、市議会リコールのとき25%無効になっとるわけですよ。これが。まあいろいろありますけど署名が同一。ほれから、番地が1の1の1が漢数字だとかなんとかで1字間違っったわけですね。はじめそういうのがみんなボツにされたり、大きかった

のは受信者名簿の受任者欄が、当時は街頭でやるやつと、それから一般に集めるのと一緒でやってました。今回分けたったんです。街頭でやるやつは受任者欄なしという、それが大きかったんですけど。

25%も無効にされて、でそれに対して縦覧手続きでそれがひっくり返ったということでリコール認められたと。いう経験をしておりますので、まあ相当の数ですね、ええことじゃないですけど、おとつあんがおっかさんの名前書いたり、家族の名前書いたりというのはいいことじゃないけど、あるんです。会社の社長がみんな書いたりとか、まあまたかなと、いうぐらいの話の認識しかなかったです。実際そうです。経験しとりますから。

ということでその時の状況は、分かったというのは、大量の不正署名が分かったということじゃないです。そんなこと考えも及ばなかったということです。

その時点でなぜ調査しなかったのか

【江上議員】「昨年11月3日気づいていた」ということは認めました。何か別のことを一生懸命言ってみえたわけですけど、気づいたのになぜ調査をしなかったのか。そのことはどうですか。

犯罪があるとは思わなかった（市長）

【河村市長】気づいていた、もう一回ちょっとその、記者会見ですか。精査しますが、まあ気づいたと言いますか、まあ僕からすると10年前25%もペケだったから、まあ、またそんなことかなあというふうに思っただけであって、気づいていた中身は今回のような犯罪があると、犯罪の事実があるということは到底、まったく知る由もなしという状況だったということです。

ごまかした。運動をやっていれば気づくはず

【江上議員】最初の記者会見では偽造したことはありませんときっぱり言っておきながら、22日になって佐賀の問題なんかが出てきたら、気づいていたのに、いろいろあったから、というはごまかしであります。

ましてやですね、提出するときに、だいたい、有効署名の5倍以上提出しているわけですよ。だいたい、署名運動やっていれば、毎日毎日署名数がどれくらいあるか聞いているはずですよ。それに比べて5倍もあつたらおかしいと思わない方がおかしい。これを

私は指摘しておきたいと思います。

10年前の受任者名簿情報を今回のリコール団体に貸し出したのは誰か

【江上議員】市長は、10年前の市議会解散を求めるリコール時の受任者名簿情報を今回のリコール団体に貸し出したと発言しています。10年前の2011年3月、名古屋市議会は、解散リコールが成立し、解散いたしました。その市議会解散リコールは、「ネットワーク河村市長」という団体が請求受任者を募集していました。

そこで質問します。ネットワーク河村市長が管理していたと思われる受任者名簿を今回のリコール団体に貸し出したのは河村市長本人ですか。河村事務所ですか。それとも、ネットワーク河村市長という団体ですか。お答えください。

「ネットワーク河村市長」が貸し出した（市長）

【河村市長】リコール団体が使った案内ですけど、誰が貸し出したのかということですか。これは「ネットワーク河村市長」です。主体といえば。だけどその責任者うちに居りまして、一緒に長いこと。だからまあ、しょっちゅう事務所の中で話なんかはしとる、いうことでございます。

リコール団体に貸し出した、これは答弁漏れになるかな、あれは貸し出したというより、皆さんに案内して頂いてええですよ、ということで。皆さんいろいろ言われますけど、リコール運動も選挙運動とおんなじですね。国民の、憲法15条1項に基づく基本的な権利なんです。だから関係ある方に選挙運動で推薦ハガキ出しますけど、おんなじように、この人こういうことでリコールせないかと案内を出すのは何の問題もありません。これは。問題がないどころかやるべきことです。政治活動の自由というか国民の知る権利に奉仕する、いうことでございます。

市長が貸し出したのでは

【江上議員】ネットワーク河村市長と回答されました。しかし市長は記者会見で、「受任者の名簿について集めるときにもちゃんと明示してあって、これは政治活動に使いますということを書いてあります」とか「それと政治活動、書いてなくても政治活動において個人情報保護法の適用はない」と当事者のように発言しています。河村市長が貸し出したのではないですか。お答えください。

「ネットワーク河村市長」の人が河村事務所にいるので自分も発言した（市長）

【河村市長】それはまあ私はこういう仕事やっとなりますんで、いろんなどこ出ますんで、このネットワーク河村市長というのは、平野さんという方でございまして、まあ事務所に居られますけど、その方ですから、まあ一緒に相談しながらやっとなるということで、僕は発言すること多かったと。多かったかどうか知りませんが、まあそういうことでございます。

10年前の名簿は外部に提供しない約束。受任者に謝罪すべきだ

【江上議員】まあ、ネットワーク河村市長ということにしておきましょう。ここに10年前の署名の受任者を募集するはがきをブログから見たものを印刷してきました。「ネットワーク河村市長」が団体として配布したのですが、そこには、「ご登録された個人情報情報は上記団体（つまりネットワーク河村市長）外の第三者に開示提供せず」と明記していました。

また、2012年8月22日の総務環境委員会で、この受任者名簿の目的外使用が問題となった時、参考人として出席したネットワーク河村市長名簿管理委員長の平野一夫さんが、「第三者に開示しないということは、これは確かなことでございます」と答えています。

そこで質問します。受任者名簿情報をネットワーク河村市長の第三者であるリコール団体に貸し出したのは、10年前の受任者に対して約束違反ではありませんか。個人情報を漏らしたことを受任者にお詫びすべきではありませんか。お答えください。

「市政改革には使用する」と書いてあった（市長）

【河村市長】そこにもうちょっと書いてあるのを読んでてもらわないかんですけど、名古屋市政改革、完全にちょっと「てにをは」は覚えておりませんが、「には使用いたします」というふうに書いてあります。

大きな問題だ

【江上議員】どこまでも第三者に見せないということは認めないということのように聞こえます。これは大きな問題だと指摘しておきます。

リコール署名は市民に賛同が得られなかったと認めるか

【江上議員】署名の調査結果は、有効署名は26,981で名古屋市内有権者1,890,791人

に対して1.43%です。100人で1人余しか署名していません。中川区では、有効署名は1,567で有権者181,418人に対して0.86%です。100人のうち1人も署名していません。市長の主張は、有権者に認められなかったのではありませんか。

そこで、質問します。リコール署名の結果、市長の主張、行ってきたことは、市民に賛同が得られなかったとお認めになりますか。お答えください。

コロナ禍で（有効署名が少ないのは）しょうがない（市長）

【河村市長】署名している数が少ないけれど主張が市民に認められたのか、いいですけど、これは、そんな、名古屋市訴えてまってですね、悪いですけど愛知県知事、独断独裁で、それもコロナ中ですよ。ほんでそれからいかん、コロナ中に訴えてまって。私守らなきゃいかん、裁判になってます。これは当然のこととして名古屋市として反論しています。3300万円払えというのが県の主張ですけど。冗談じゃないということ反論しとりまして、リコール運動については、そんな状況下においては、これもしょうがないというか、名古屋市民を守るために必要な活動だったというふうに私は思っております。

賛同者が少ないという事実を認めよ

【江上議員】数字で賛同されていないことは明らかだけれども、なんかコロナ禍の問題でいろいろ言ってきたけども、事実として、やっぱり賛同者は少ないんだと、そのことは認めなくてはいけなんじゃないですか。どうですか。

有効な署名が別個にあるという説がある（市長）

【河村市長】いや。コロナもありましたし、私は私で精一杯応援をしまして、あんまり推測で言っちゃいけませんけど、有効な名簿は別個のどこにあると。10万とか20万とかですね、という説があるんです。これ。有効な名簿が、まあこれちょっと長なるでやめときますけど、そういうようなことで、リコール運動というのは日本では、日本ではというと感じ悪いですけど、あんまりありませんけど、これがダメだと思ったら堂々とリコール運動をやるのが重要なんであって、コロナのことが大きかったと思いますけど、それは市民の皆さん熱心にやって頂いて、大変貴重な活動だったと私は思いますけど。

他に有効署名があると思っているのか

【江上議員】 そうしますと市長は、名古屋市内で有効署名が 26981、中川区では 1567、これ以外にもっとたくさん有効署名があるんだと、そういうことを思ってみえるわけですか。どうですか。

そういつている人が複数いる（市長）

【河村市長】 それは今何とか確認できんかということで、いろいろこちらも調査しとりますけど。まあそういうこと言っている方が複数お見えになります。

事実に基づいて賛同者が少ないことを認めよ

【江上議員】 そういうことを理由にして署名が賛同していないとは言えないと、そういうことを言ってみえるの。事実に基づいて、ちゃんとそれがあつ限りはまずきっぱり、これはいかんなあと、しかしこういうこともあるんだよと、そういうのが論理的な話じゃないですか。どうですか。

数でどうのこうのいうより…（市長）

【河村市長】 まあそれは推測ですけど、まあ推測いってもええかげんな推測じゃないですけど。しかしあの、数名であっても、名古屋市が現に訴えていると、こんなこと、こんなこといっちゃあなんですけど、とんでもない話ですよ。天皇陛下、バーナーで燃やして足で踏んづけるようなのを何の相談もなくやってですね、これ、名古屋市に 3300 万払え言つて、それでコロナ中に何の相談もなく訴えてくると、そういう人は辞めたいだけだといふ運動をするというのは、そんな、数でどうのこうのいうのより大変貴重な活動じゃないですか。これ。

自身の行動に責任をもたないのなら市長の資格はない

【江上議員】 表現の自由を自ら犯していながら、そんなこと質問もしていないことを答えること自体問題だということを指摘しておきます。

私がリコール団体の代表の発言を踏まえて、いいですか、代表者の発言を踏まえて、リコール活動の中心人物であるとはっきり申しあげました。この発言に侮辱、名誉棄損、私は根拠がまったくわからない。でもリコール運動を熱心にやって、中心人物と言われる、これだけで言えば、誉め言葉じゃありませんか。今回リコール団体が提出した署名に偽造が 83%も含まれていたから、問題発言だと言い出したんじゃないですか。

私が質問しているのは、リコールを熱心に推進してきた者としての責任をお聞きしているわけであります。答えないということは、逆に偽造の加担したのではないか、こんな疑問を市民にもたれてしまいますよ。そんな話だと私は思っております。

今年1月、病院のベッドが不足して大問題となりました。ベッドの不足は、昨年7月、8月からわかっていました。第3波が来るんじゃないかと心配もありました。名古屋市として、愛知県と協力してベッドを準備することが求められていました。ところが、市長は、知事リコール運動に熱中したことやその署名調査でコロナ対策に大きな支障をきたしました。市長は、コロナ対策より知事リコール運動を優先しました。

自ら行ったことに責任ある発言をしない方は、市長職にいる資格はありません。

このことを申し上げて私の質問を終わります。